

第316圖



第317圖



第318圖



をところようぞめ

一名 こねそ

*Viburnum phlebotrachum**Sieb. et Zucc.*

山地ニ多キ落葉灌木。高サ2mニ達ス。樹皮ハ灰色ヲ呈シ、枝極開シ眞直ナリ。葉ハ對生シ短柄ヲ具ヘ、卵狀橢圓形、長サ凡3-5cm、蒼綠色ニシテ表面ハ平滑、裏面ハ葉脈隆起シ毛ヲ有シ、邊緣鋸齒アリテ、規則正シク配列セル支脈ハ鋸齒ニ達ス。五六月ノ候、枝端ニ繖房花序ヲ出ダシテ下垂シ五乃至十花ヲ着ク。花ハ徑1cm以下、白色ニシテ淡紅暈アリ、五裂シテ全開ス。雄蕊ハ五本、花冠ヨリ短シ。秋ニ入リテ赤色ノ核果ヲ結ビテ下垂シ廣橢圓形ニシテ稍扁壓セラル。乾ケバ其葉黑變スルノ特性アリ。和名ノ意義予之レヲ解シ得ズ。

かんぼく

*Viburnum Opulus L. var.**pubinerve Makino.*

山野ニ生ズル落葉灌木、高サ2.5-3mニ達ス。葉ハ長柄アリテ對生シ、通常三尖裂シ、裂片ニ粗鋸齒ヲ具フ。初夏、枝梢上ニ繖房狀ヲ成シテ多數ノ白色花ヲ開キ、中央ノ小形正花ノ周圍ヲ繞ル裝飾花ハ大形ニシテ花冠極メテ著シ。正花ニ五雄蕊アリテ、五裂花冠ノ上ニ抽出ス。花後大豆大ノ漿果ヲ結ビ、赤熟ス。一種てまりかんぼく(f. sterile Mak.)アリ、花皆裝飾花ヨリ成ル。本種ノ材ハ白色柔靱ニテ專ラ楊枝ヲ作ル。和名ヲ肝木ト書キ來レドモ其意ハ未詳。

みやましぐれ

*Viburnum urceolatum**Sieb. et Zucc.*

深山ニ生ズル落葉灌木。高サ1m内外、匍枝ヲ曳ク。葉ハ有柄對生シ、卵形或ハ長卵形ニシテ尖リ、長サ約15cm許、邊緣ニ微鋸齒ヲ有シ、表面稍光澤アリ、乾ケバ特ニ黑色ヲ呈シ、秋日能ク紅葉ス。葉裏ノ脈上ニ短キ星芒狀毛ヲ帶ブ。夏日枝端ニ花梗ヲ抽キテ繖房狀ヲ成シ、白色ニシテ紅紫色ヲ帶ブル小花ヲ綴リ、美ナリ。花冠ハ壺狀ヲ成シテ五裂シ、内部白色、五雄蕊一雌蕊ヲ有ス。子房ハ下位。果實ハ赤熟ス。

むしかり

一名 おほかめのき

Viburnum furcatum Blume.

山地ノ落葉亞喬木。高サ4m許、太キ枝條ヲ疎生シ、横方ニ開出ス。葉ハ有柄對生シ、大形ニシテ圓形ヲ成シ、短銳尖頭、心臟狀底ニシテ邊緣ニ鋸齒ヲ有ス。四五月頃、枝端ニ繖房花序ヲ成シテ開花シ、周圍ニ大ナル白色裝飾花ヲ繞ラシ、中央ノ小形正花ヲ圍ム。花冠五深裂シ、正花ニハ五雄蕊アリ。子房ハ細小ニシテ下位。果實ハ赤熟シ、後黑色ニ變ズ。

さんごじゅ

Viburnum odoratissimum Ker.

南方ノ山地ニ自生スレドモ、又人家ニ栽植セラルル常綠小喬木ナリ。高サ3-6m。葉ハ有柄對生シ、倒披針形・倒卵形・長橢圓形或ハ橢圓形ニシテ質厚ク、表面滑澤ニシテ全邊又ハ鈍鋸齒アリ。夏日圓錐花序ヲ成シテ、多數ノ白色小花ヲ攢簇ス。花冠ハ短キ筒ヲ成シ、邊緣五裂ス。雄蕊五。果實ハ橢圓形ニシテ赤熟シ、美觀ヲ呈ス。其狀ヲ見立テ、珊瑚樹ノ和名アリ。生垣トシテ用キラル。

はくさんぼく

一名 いせび

*Viburnum japonicum Spreng.**(= V. Buergeri Miq.)*

本邦暖地ニ自生スル常綠ノ大灌木。高サ5mニ達シ全株無毛ナリ。葉ハ柄アリテ對生シ廣倒卵形或ハ倒卵狀圓形、闊大ニシテ長サ10cm内外、先端ハ急ニ尖リ、底部ハ廣楔形、邊緣ニハ齒牙狀ノ鈍鋸齒ヲ刻ム。革質ニシテ滑澤黃綠色ヲ呈シ、支脈ハ正シク並行シ其末端ハ葉緣ノ齒牙ニ達セリ。春日、枝端ニ平頂ノ聚繖花序ヲ成シテ多數ノ白色小花ヲ密集シテ開ク。花ハ徑6-8mm許。萼ハ微小。花冠ハ輻狀ニシテ五深裂シ、裂片ハ橢圓形ヲ呈シ圓頭ナリ。五雄蕊花冠ト稍同長ニシテ花冠裂片ノ内底ヨリ生ジ其裂片ト互生ス。雌蕊ノ花柱ハ短シ。秋日長サ1cm許ノ核果ヲ結ビ橢圓形ニシテ紅熟ス。花及葉ハ乾ケバ臭ヲ發ス。和名白山木ハ加州白山ニ産スルト謂フ誤認ニ基ク、いせびノ意義ハ不明ナリ。

第319圖



第320圖



第321圖

